

泉州圏域医師会 会員様

ぜひ、療養指導に活用ください！

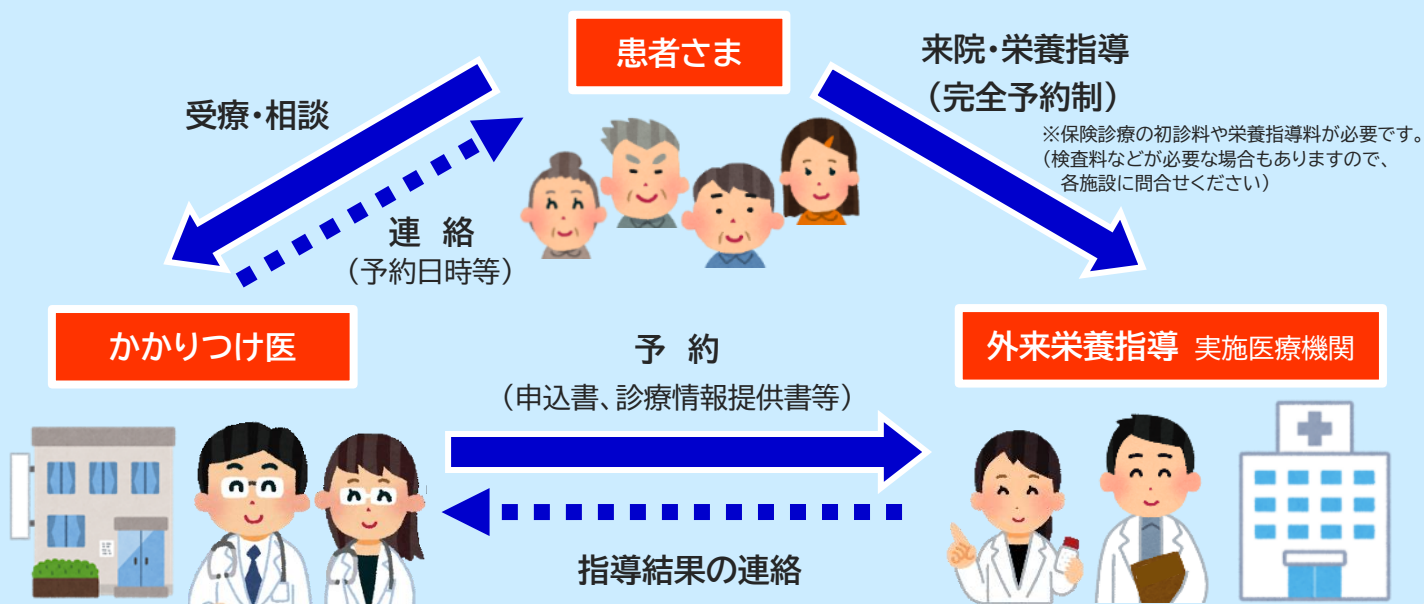
<泉州圏域> 糖尿病

『かかりつけ医からの紹介による外来栄養指導』

第8次大阪府医療計画に基づき、泉州圏域では、**糖尿病の重症化予防のため**、『**かかりつけ医からの紹介による外来栄養指導**』を推奨しています。

「かかりつけ医からの紹介による外来栄養指導」とは

日常の診療はかかりつけ医が行い、掲載している医療機関の栄養士が、外来栄養指導を行うものです。
療養指導のひとつとしてご活用ください。



かかりつけ医からの紹介による外来栄養指導の実施医療機関

令和7年6月現在

実施機関	所在地	窓口	電話	FAX
かわい病院	泉大津市	地域連携室	0725-21-6222	0725-21-0387
和泉市立総合医療センター	和泉市	地域連携センター	0725-41-3150	0725-41-2513
横山医院	和泉市	地域連携室又は医事課	0725-92-0045	0725-92-0330
葛城病院	岸和田市	地域医療連携室	072-422-9911	072-422-9931
市立岸和田市民病院	岸和田市	地域医療連携室	072-441-8825	072-441-8810
藤井病院	岸和田市	地域医療課	072-436-2201	072-436-3927
市立貝塚病院	貝塚市	地域医療連携室	072-422-5865(代)	072-438-5511
泉佐野優人会病院	泉佐野市	地域医療連携室	072-462-2851	072-462-1899
りんくう総合医療センター	泉佐野市	地域医療連携室	072-469-3111(代)	072-469-7931
永山病院	熊取町	地域医療介護相談室	072-453-1122(代)	072-451-2160

完全予約制(専用の申込書等あり)

* 上記以外に実施機関がありましたら和泉保健所に連絡ください。

【 外来栄養指導の実施機関から 】

かわい病院

住所: 泉大津市豊中町2-6-5
(JR和泉府中駅 徒歩15分)



ホームページ: <http://www.kawai-hp.or.jp/news/202101295005.html>

栄養士から

○月～金曜日で日時調整させていただきます。お気軽にお問合せ下さい。
○食事や栄養面で困りではございませんか？
お手伝いできる事ありませんか？
ぜひ、管理栄養士をご活用ください。



和泉市立総合医療センター

住所: 和泉市和気町4-5-1
(JR和泉府中駅からバス5分)



※専用の申込書(兼診療情報提供書)にて申込みください

ホームページ: <https://izumi.tokushukai.or.jp/cooperation/>

栄養士から

○予約制で、水曜日午後には実施しています。
(診察2時、栄養指導3時より)
○一人ひとりの生活環境に合わせたお話を心がけております。
ぜひ、お気軽にご相談ください。



横山医院

住所: 和泉市仏並町287番地
(南海泉北線/和泉中央駅の⑨番乗り場から
「路線維持バス 父鬼ルート」で約20分、「槇尾学園前」下車、
徒歩3分) ※駐車場無料



※【各種お申込みフォーム】から栄養指導申込用紙をダウンロードし、お申込下さい

ホームページ: <https://www2.tachibana-med.or.jp/yokoyama/>

栄養士から

○お忙しい方も相談しやすいよう、土曜日や祝日にも対応しています
○かかりつけ医から検査データを送って頂き、データを確認
しながら指導を行い、指導後はかかりつけ医に指導記録を
フィードバックしています。



葛城病院

住所: 岸和田市土生町二丁目33番1号
(JR 東岸和田駅 徒歩10分)



※専用の申込書(兼診療情報提供書)にて
申込みください

ホームページ: <https://www.katsuragi-hosp.or.jp/section/nutrition/teaching/>

栄養士から

○予約制で、毎週水曜日・金曜日の
13時30分～、14時30分～ 実施しています。
○「これならできそう！」小さなことから始めてみませんか？
感染症対策にも力を入れておりますので、ご安心してご相談ください。



市立岸和田市民病院

住所: 岸和田市額原町1001番地
(JR下松駅 徒歩6分)



※専用の申込書(兼診療情報提供書)にて申込みください

ホームページ: <https://www.kishiwada-hospital.com/medical/partnership/>

栄養士から

○患者さん一人ひとりに合わせた食事療法が無理なく実践できる
ようサポートいたします。
ぜひお気軽にご活用ください。



藤井病院

住所:岸和田市西之内町3-1

(南海本線和泉大宮駅 徒歩5分)

※お電話にて腎臓内科の診察予約をとって頂きます(医療機関のみ)

診療情報提供書をFAXいただき、

医師に確認後診察日の返答をさせていただきます。

ホームページ:<https://www.ryoshukai.or.jp/medical/fujii/>

栄養士から

○糖尿病性腎症、特に保存期腎不全の食事を中心に

患者様に寄り添った継続的な栄養指導を

行っております。

○かかりつけ医と当院腎臓内科医、管理栄養士が連携し

地域で患者様をサポートできる体制を目指しています。

市立貝塚病院

住所:貝塚市堀3-10-20

(南海本線貝塚駅 徒歩10分)

※専用の申込書(兼診療情報提供書)にて申込みください

ホームページ:[http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/busyo/chiiki/nutrition support/index.html#irai](http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/busyo/chiiki/nutrition%20support/index.html#irai)

栄養士から

○今の食事について不安なこと、わからないこと、

一緒に考えて「できること」から

アドバイスしていきます。



泉佐野優人会病院

住所:泉佐野市湊4丁目5番17号

(南海本線井原里駅 徒歩8分)

※電話にてお申込みください

ホームページ:<https://yujinkai.or.jp/>



栄養士から

○月曜日～土曜日でご希望に応じた日時調整を

させていただきます。

○食習慣を改善することで、病気の悪化を防ぐことが可能です。

お食事の話を聞きながら、ライフスタイルに合わせた、

継続しやすい提案をさせていただきます。



りんくう総合医療センター

住所:泉佐野市りんくう往来北2番地の23

(JR関西空港線・南海空港線

りんくうタウン駅 徒歩5分)

※専用の申込書(兼診療情報提供書)にて申込みください

ホームページ:<http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/cooperation/chiiki3/diabetes/>



栄養士から

○予約制で、毎週月曜日午後、水曜日午前に実施しています。

○ライフスタイルに合わせた食事療法のアドバイスが

できるよう心がけています。



永山病院

住所:泉南郡熊取町大久保東1-1-10

(JR熊取駅 徒歩5分)

※電話で依頼後、当院作成の情報提供用紙にて申込みください

ホームページ:<http://www.nagayama.or.jp/sp/>



栄養士から

○多職種の糖尿病療養指導士が在席しており、

食事指導だけでなく療養相談にも対応します。

○「糖尿病教室」も開催しており参加していただけます。

栄養指導事例のご紹介

(相談者) 70 歳代 男性 身長 166cm 体重 86kg 薬物療法あり

栄養指導前の食生活

朝食 茶粥、玉子焼き、漬物

昼食 茶粥、そうめん 2 束、漬物

夕食 ごはん 2 杯、おかず

間食(10・15・20～21 時) アイスやパン、果物等

- ・果物は摂取基準の 3 倍食べている
- ・漬物を好み、おかずの味付けは甘辛い味付けが多い
- ・活動は畑仕事、週 1 回趣味の運動を 2 時間している



管理栄養士から

食事や生活に関するアドバイス

- ・合併症のリスクについて説明する
- ・(手計法を用いて)1 日の食材の摂取量の目安を知ってもらう
- ・おやつは 15 時のみにする
- ・野菜は毎食食べる
- ・食べる順番を意識する
- ・運動は継続する



管理栄養士

＼こんな工夫をしています！／

一時改善されても油断するとすぐに数値が悪化してしまうことがあります。

また、環境の変化による変動もあるため、患者様の習慣や環境の変化についてコミュニケーションをとりながら聴きとり、栄養指導の周期を決めています。

栄養指導※

※データが落ち着くまでは 3 か月毎に指導を行い、落ち着いてからは 6 か月毎に指導を実施

栄養指導後の食生活

- ・毎食野菜を食べている
- ・間食と果物の量が減った

指導日	初回	1年後	2年後
HbA1c(%)	8.7	6.7	6.7
体重(kg)	86	82	83



外来栄養指導を受けてみて…

- ・糖尿病を放置しておくと様々な合併症のリスクが高くなる事がわかった。
- ・食習慣を見直すと、データが良くなる事がわかった。
- ・趣味を楽しみながら自宅で生活するために、悪化を防ぎたい。

栄養指導を受けた患者様からは
他にも…

栄養指導は叱られると
思っていたが違った。



もっと早く
受ければよかった！

糖尿病といわれたら、まず糖尿病連携手帳を！

すべての医療機関で
内科医も
眼科医も



歯科医も
薬剤師も

泉州圏域では、糖尿病連携手帳の普及を進めています
患者さんをサポートする医療機関の情報共有に有効です